第１学年○組　　道徳科学習指導案

○年○月○日　○曜日　第○時

指導者　○　○　○　○

１　主　題　名　　　がんばる心　　Ａ　希望と勇気、努力と強い意志

２　主題設定の理由

　(1)   価値観

　　　目標を立て、その目標に向かってがんばろうとする気持ちをもつことは大切である。しかし、目標を達成するためには、うまくいかないことがあっても諦めずに取り組まなければならないことがある。

　　　児童の中には、課題の克服が困難であると考えると諦めてしまったり、自分には力がないと決めつけてしまったりすることがある。

　　　周りの人の励ましや称賛のもと、自分の力を発揮し、困難を乗り越えることは「生きる力」へとつながる。困難や苦しみがあっても、それを乗り越えて目標に向かってがんばることのよさについて考え、自分の目標へ向けて努力しようとする意欲を養いたい。

　(2)   児童観

　　　この時期の児童は、どんなことにも興味をもって取り組む姿が見られる。しかし、やってみたものの思うようにできなかったり、失敗したりすると、すぐに諦めてしまうことも少なくない。

　　　自分でこつこつと努力を続けることは、自分を高め、やり遂げたときの喜びや充実感が大きいことに気付かせたい。また、困難があっても、それを乗り越え、努力しようとする気持ちを高めたい。

　(3)   教材観

　　　本教材は、水に顔をつけられずに悔しい思いをした主人公が、家で地道に練習し、プールで浮くことができるようになった話である。水に顔をつけることさえ苦しかった主人公が、諦めずに毎日練習を続けたことで、水に体を浮かべることができるようになった。

　　　体育の時間に首までしか入れず、悔しい思いをした主人公が、どんな気持ちで毎日練習を続けたのかを考えさせたい。そして、友達や先生に称賛され、さらなる目標をもって取り組もうとする気持ちに共感し、自分の目標へと努力する意欲につなげたい。

３　本時のねらい

　　自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする実践意欲を高める。

４　準備・教材

・ 教材名「うかんだ　うかんだ」　出典「あたらしいどうとく」（東京書籍）

* 教師・・・場面絵、ワークシート、シール

５　関　　連

　　道徳　「こぐまの　らっぱ」（希望と勇気、努力と強い意志）

６　学習指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　　　習　　　活　　　動 | | 時間 | 指　導　上　の　留　意　事　項 |
| 導入 | １　もっとできるようになりたいと思っていることを発表する。  　・野球がもっと上手になりたい。  　・計算が早くできるようになりたい。  ２　本教材を読み、話し合う。 | | ５ | ・ 全ての発表を共感的に受け止める。  ・ もっとできるようになるには、どうすればよいかを問い掛け、価値への方向付けをする。  ・ 体育の学習で水泳が始まることを伝え、範読に入る |
| 展開 |  |
| 展　　　　　　　　　　　　　　開 | | | 毎日、ぼくは、どんな気持ちで練習したと思いますか。  　・苦しいなあ。  　・少しずつできるようになってきた。  　・練習を続ければ、もぐれるようになるかなあ。  　・もぐれるようになりたい。  ぼくは、すうっとからだが浮かんだとき、どんな気持ちになったでしょう。  　・うれしい。  　・やったあ。  　・がんばって練習を続けてよかった。  　・諦めずに練習したからできるように  なったんだ。  　・次は、泳げるようになりたいな。  ３　自分の生活を振り返り、がんばって  いることを友達と共有する。  (1) 自分ががんばっていることをワークシートに書く。  (2) 交流の仕方を知る。  (3) 友達と交流する。  ４　本時を振り返る。  　・ 友達と意見交換をして、どんな気持ちになったかをワークシートに記入する。 | 13 | ・ 首までしか入れずに、悔しい気持ちになったことを押さえる。  ・ すぐにできるようになったわけではないが、練習を続けた主人公の気持ちを考えさせる。  補どのくらい練習したのだろう。なぜ   練習を続けたのだろう。  ・ 練習を続けたからこそできるようになったという視点をもてるように補助発問をする。  補もし、練習を途中でやめてしまっていたら、どんな気持ちになっていたかな。  ・ 生活面、学習面、習い事などどんな分野でもよいことを伝える。  ・ なかなか思いつかない児童には、これからがんばりたいことをでもよいことを知らせる。  ・ 席を離れて、自由に交流できるようにする。  **評**自分ががんばっていることを考え、友達と交流している。  （ワークシート、観察）  ・ 気持ちで表すイラストに○をつけることで、表現させる。  ・ 自分の言葉で書ける児童は、気持ちを文章で表現させる。  **評**友達との交流を通して、これからも努力を続けたいという意欲をもっている。　　　　　　　　（ワークシート） | |
| 25 |
| 40 |
| 終　　　末 | | | 45 |

７　本時の評価

　 がんばっていることを考え、友達と交流することで、これからも努力を続けていこうとする意欲をもっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ワークシート、観察）

８　備　　　考

　 補助発問をすることで、諦めたら目標にたどり着くことはできなかったということに気付けるようにする。

９　指導と評価